

知恵と心と勇気を…

ファンタスティックな夢をちりばめた豪華な
ミュージカル巨編!!

70mm

THE WIZ ウイズ

『愛』の出発点…それはイエスに始まる!

ユダの『愛』の叫び!
マリアの『愛』の美しさ!
12人の仲間の『愛』の実り!

爆発する若いエネルギー!新しい衝撃!!

『愛の主題』を描いて最高最美

ミュージカル映画に新革命を起した話題作!

70mm

ジーザス・クライスト スーパー・スター

JESUS CHRIST
SUPERSTAR



博品館

ミュージカル映画フェスティバル
Musical
Movie's
Festival

製作費70億円!

「オズの魔法使い」のミュージカル映画化

ダイアナ・ロス

マイケル・ジャクソン◆ニブシー・ラッセル
テッド・ロス◆リナ・ホーン
リチャード・プライアー

監督シドニー・ルメット

製作ロブ・コーエン◆脚色ジョエル・シュメッチャー
原作L・フランク・バウム
音楽作詞・作曲チャーリー・スマールズ
撮影オズワルド・モリス◆特撮アルバート・ウィットロック
美術コストュームトニー・ウォルトン
音楽監督クインシー・ジョーンズ

●カラー作品・ユニバーサル映画 CIC 配給

■『屋根の上のバイオリン弾き』夜の大捜査線の
ノーマン・ジュイソン製作・監督作品

テッド・ニーリー/カール・アンダーソン/イボンヌ・エリマン
原作・作詞ティム・ライス/作曲アンドリュー・ロイド・ウェバー

●カラー作品・ユニバーサル映画 CIC 配給

2/16(土)~29(金)

ウイズ	1:00	5:15
スーパー・スター	1:05	3:20

入場料1,000円(前売券800円)

銀座8丁目
5 博品館劇場

〒104 東京都中央区銀座8-8-11 銀座博品館8F
TEL: 03(571)1003代

THE WIZ

ザ・ウイズ



竜巻にさらわれ、不思議な魔法の国へさまよひこんだ少女。道ロシ一は、家に帰る道を探して魔法使いオズを訪ね尋ねる。道ロシ一は愛犬トト。そして魔法の国で出会いつた三人の友たち一脳みの、のないカカシ、ハートのないブリキ人間、そして、勇気のみ、ライコ。

それぞれは自分のないものを、オズの魔法使いにさすげてもらつたりだつて、旅の終りに彼らはなにあつたことを。子供の夢そのままの、『ファンタジー』に満ち満ちたこの物語は、1939年『オズの魔法使い』として映画化され、当時16歳のドロシーを演じたジュディ・ガーランドはカデミー特別賞を受賞した。彼女が歌つた「オーバー・ザ・ライインボウ・虹の彼方へ」のクラシック・ナンバーとして、今日に歌いつながっている。この映画化から30余年、この物語はロングのビートも新たにブロードウエイのミュージカルとして登場した。タイトルは「ザ・ウイズ」(魔法使い)。Wardは「初日の幕開きと同時に、爆発的な人気をもたらしたこのミュージカルは、ブロードウエイのロング記録を次々に更新した。その待望の復活化がここに登場する麗華なミュージカルファンタジー「ウイズ」である。おなじみの主人公たちがくりひろげる不思議な旅の楽しさに加えて、今回はそれをつみこんでいるバッケージの素晴しさ、物語の素晴しさが何よりも大きい話題。且と曰から、これはぜひいたる者を楽しもさせてうるもののがすべて最初から自分自身のなかにあった。自分たちのことを。」

●監督 シドニー・ルメット

● ダイアナ・ロス

1924年6月25日フィラデルフィアで生まれたが、4年後、ブルックリンにあるラジオ局で放送脚本を書いたが、4年後、ニューヨークに移り住んで以来、ニューヨークを愛していいる当代一流の監督。「狼たちの午後」「セルビック」「ショーン・コネリー監督作戦」「グレーブ」等ニューヨークを舞台にした多くの映画で、1950年の監督賞、25本目の作品である『同時の映画』ミュージカル第一作目である「ウイズ」の舞台をニューヨークにしたほど。4才の時に、父の作品で初舞台を踏み、1950年に、テレビの監督助手になるまで、役者として、舞台に数多く出演、映画にデビューから、映画へと移つていった監督であり、映画第一作『レバーランド』といわれていて、『十二人の怒れる男』であった。それは以後、『女優のための映画』『女優問題』『蛇のくつをつける男』『橋からの眺め』『丘』『質屋』『約束』等の問題作をつくりつづけている。役者としての経験をいかし、役者扱いのうまさと、映画づくりのうまさが彼の身上であります。『ウイズ』でも、その才能があまりにうまいが彼の身上であります。『ウイズ』でも、その才能があまりにうまいが彼の身上であります。『ウイズ』でも、その才能があまりにうまいが彼の身上であります。

JESUS CHRIST SUPERSTAR



ジーザス・クリイスト ス-パ-スター

●監督 ノーマン・ジュイソ

テッド・ニーリー

1944年デキサス生まれ。8才の時にロック・グループへ進んだが、高校卒後に退学。中西部と西海岸で演奏して回ったが、ベガスで結構人気を集め一度レコードを出したが、これは売れたが、これは売れなかつた。微弱で、メンバーが欠落すると、彼は単独で「ヘアード」に出演。2年間続く。「J・C・スーザーバースター」の72年ロスクリーン・テストでは3千人の競争相手から金のを射とめている。

テ・ト・ニ・リ

見せてくれる。
演奏はアンドレ・プレヴィン指揮のロンドン・フィルハーモニー交響楽団。

主役の3人や出演者のほとんどがブロードウェイをはじめ、各地のコンサートで活躍してきただけに、一分のスキもない歌や踊りをじよじよとこなす。

このドラマを、映画つくりの常識をはるかに超越して見事に映像化したのは、「夜の大捜査線」「屋根の上のバイオリン弾き」の俊英ノーマン・ジュエイソンである。

舞台劇である。
イエス・キリストの最後の7日間を描きながら、現代の若者たちに相通ずる愛と苦悩の

この映画の原形は一九七〇年、イギリスの二人の若者ティム・ライス（作詞）アンドリュー・ロイド・ウェバー（作曲）が、コンサート用に書いた斬新で現代感覚にあふれた作品であり、世界各国で最大の反響を呼んだ